

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 694 号	氏名	榎園 美香子
学位審査委員		主 査	芦澤 和人
		副 査	福岡 順也
		副 査	工藤 崇
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、従来から髄膜腫の MRI 検査で腫瘍辺縁に腫瘍・脳実質と異なる信号を呈する縁取り (rim pattern) がみられることが特徴的とされてきたが、新しい撮像法である 3D-FLAIR 法を用いてその意義を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 長崎大学病院で病理学的に髄膜腫と診断された 32 例に対して、ガドリニウム造影前・後の 3D-FLAIR を撮像し、rim pattern の画像所見 (grade) を血管造影所見や術中の腫瘍-脳組織間の癒着度、腫瘍の組織学的悪性度等と比較したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、造影前 3D-FLAIR における rim pattern の grade は腫瘍辺縁の結合組織の多寡や脳実質への浸潤および腫瘍の組織学的悪性度と相関がみられた。一方、造影後 3D-FLAIR における rim pattern の grade は、内頸動脈からの栄養血管の有無と関連がみられた。今後の髄膜腫の術前診断や治療方針決定に寄与することが大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は画像診断学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			